

平成17年度(第55回)北海道倶楽部対抗競技  
Bグループ

スタート時刻及び組み合わせ表  
[第1ラウンド2005年8月17日(水)]  
札幌エルムカントリークラブ(東 チャンピオン)  
主催:北海道ゴルフ連盟

<午前の部>

アウトNO.1(東OUT)

組	時刻	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア
1	6:45	幅崎洋三	グレート札幌		西谷琢猪	樽 前		青山滋	ノースパレー	
2	6:53	江川幸雄	旭 川 国 際		西野目信雄	旭 川 国 際		佐々木正文	平 取	
3	7:01	大塚恒美	大 沼 国 際		岩城秀明	ア ル ベ ン		中村幸晴	メイフラワー	
4	7:09	寺西克視	士 別 同 友 会		千葉秀二	ニドムクラシック		谷田和夫	名 寄 白 樺	
5	7:21	塩飽美弘	白 金		鈴木 努	ユニオンジャック		杉山 徹	北海道クラシック帯広	
6	7:29	木村幸治	ワ シ ン ト ン		玉置和弘	日 高 国 際		瀬能義則	羊 ケ 丘	
7	7:37	中島克幸	帯 広 白 樺		北川利秋	小 樽		堀合康文	新 釧 路	
8	7:45	小杉 勇	札幌すずらん		松原秀明	帯 広		柏倉優治	北 見	
9	7:57	高田尚之	札 幌 台		中村直行	函館シーサイド		相馬明夫	スコットヒル	
10	8:05	後藤肇克	ハッピーパレー		新屋尚利	増 毛		高木俊充	アーレックス	
11	8:13	伊藤幸男	恵 庭		堀川秀雄	札幌エルム		伊藤 淳一	岩見沢雄ヶ森	
12	8:21	友重崇憲	コート旭川		藤谷智行	ニ セ コ		坪田健二	サ ホ ロ	
13	8:29	松田清志	石 狩 平 原		高橋昭彦	北海道クラシック		佐々木雅則	ル・ベタウ	

インNO.10(東IN)

組	時刻	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア
1	6:45	安孫子純一	アーレックス		藤嶋信雄	帯 広 白 樺		岸本憲明	函館シーサイド	
2	6:53	岡田雅裕	北 見		横井貞樹	帯 広		玉川正吉	新 釧 路	
3	7:01	島田裕之	ル・ベタウ		前道正司	サ ホ ロ		中里邦洋	恵 庭	
4	7:09	内山信一	増 毛		山下雅章	札幌すずらん		名古屋光弘	石 狩 平 原	
5	7:21	三好康裕	小 樽		沢田昌宏	ハッピーパレー		丹羽 弘	北海道クラシック	
6	7:29	中山孝志	ニ セ コ		山口 茂	札 幌 台		奥山寿男	コート旭川	
7	7:37	石王久暢	スコットヒル		木下照義	岩見沢雄ヶ森		高地茂夫	大 沼 国 際	
8	7:45	藤本 仁	ノースパレー		渡辺輝明	士 別 同 友 会		佐々木義夫	札幌エルム	
9	7:57	操 上 真	白 金		和泉 輝一	ユニオンジャック		重元 肇	ワ シ ン ト ン	
10	8:05	真嶋幸一郎	名 寄 白 樺		今井義市	羊 ケ 丘		高岸 順一	日 高 国 際	
11	8:13	長澤岳志	旭 川		新 正 之	平 取		舟橋英樹	樽 前	
12	8:21	山崎祐二	旭 川 国 際		小野 守	グレート札幌		高橋克己	メイフラワー	
13	8:29	熊谷直哉	ニドムクラシック		井川佳典	北海道クラシック帯広		鈴木 順	ア ル ベ ン	

<午後の部>

アウトNO.1(東OUT)

組	時刻	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア
1	11:00	三上修一	メイフラワー		枝沢和夫	名 寄 白 樺		佐藤勝也	サ ホ ロ	
2	11:08	棚田政幸	増 毛		沢石石勝	帯 広 白 樺		田中一彦	ハッピーパレー	
3	11:16	千葉 昭	函館シーサイド		新谷光昭	ア ル ベ ン		高松勝敏	グレート札幌	
4	11:24	鎌田敏雄	帯 広		星山昭則	樽 前		坂井尊治	コート旭川	
5	11:36	寺町 隆	北海道クラシック帯広		石岡幸秀	大 沼 国 際		田中哲也	白 金	
6	11:44	吉田伸幸	小 樽		竹内雅彦	ノースパレー		前田人司	札 幌 台	
7	11:52	奥 博	新 釧 路		佐久間忠信	札幌エルム		浦川光広	日 高 国 際	
8	12:00	加藤晴之	ル・ベタウ		斎藤光雄	石 狩 平 原		斎藤宏信	ニドムクラシック	
9	12:12	北野勝治	羊 ケ 丘		笹 清 美	旭 川 国 際		岡村 幹	北 見	
10	12:20	塩田芳春	恵 庭		山岡秀一	岩見沢雄ヶ森		横田圭介	アーレックス	
11	12:28	福土勝美	士 別 同 友 会		宮崎正之	北海道クラシック		伊藤博正	スコットヒル	
12	12:36	高橋廣行	ユニオンジャック		向久保辰生	札幌すずらん		石田勝彦	平 取	
13	12:44	澤口繁豊	ニ セ コ		松井五十二	旭 川		平泉三千年	ワ シ ン ト ン	

インNO.10(東IN)

組	時刻	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア	氏名	所 属	スコア
1	11:00	大高基司	北 見		吉田 守	恵 庭		三橋康則	スコットヒル	
2	11:08	田中雅己	石 狩 平 原		白石博礼	札幌エルム		工藤孝治	羊 ケ 丘	
3	11:16	桂 久	アーレックス		稲垣雅彦	白 金		川村拓也	ユニオンジャック	
4	11:24	山本 学	岩見沢雄ヶ森		早川 章	ニドムクラシック		内藤孝志	旭 川 国 際	
5	11:36	高木保夫	新 釧 路		内山一彦	ル・ベタウ		大久保邦男	旭 川	
6	11:44	工津輝雄	ワ シ ン ト ン		斉藤 洋	ニ セ コ		内木修一	札幌すずらん	
7	11:52	最上芳正	サ ホ ロ		富 櫻 貢	大 沼 国 際		二 瓶 学	北海道クラシック	
8	12:00	越後利広	グレート札幌		柴田明彦	平 取		西館義和	帯 広 白 樺	
9	12:12	林 博 幸	日 高 国 際		下保 哲也	北海道クラシック帯広		小田島政史	名 寄 白 樺	
10	12:20	篠田光司	ハッピーパレー		瀬越正己	増 毛		本間司朗	メイフラワー	
11	12:28	渡辺雅嗣	樽 前		佐々木孝之	函館シーサイド		高井光碩	ノースパレー	
12	12:36	三浦久和	ア ル ベ ン		村角 誠	士 別 同 友 会		西條文雪	小 樽	
13	12:44	荒木地稔	札 幌 台		山下 悟	コート旭川		中島洋一	帯 広	

# 平成 17 年度 (第 55 回) 北 海 道 倶 楽 部 対 抗 競 技

開 催 日 : 平成 17 年 8 月 17 日 (水)・18 日 (木)

開 催 コ ー ス : 札幌エルムカントリー クラブ (東コース)

## 競 技 の 条 件

### 1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

### 2. 使用球の規格

a. 公認球リストの条件・ゴルフ規則付 (c)1a』を適用する。(ゴルフ規則書 161p 参照)

### 3. 競技終了時点

本選手権競技は、各会場で最終日に全員のスコアが掲示された時点をもって終了したものとみなす。

### 4. ホールとホールの間での練習禁止

競技者は、プレーを終えたばかりのホールの、

(a) グリーン上やその近くで練習ストロークをしたり、(b) グリーン上で球を転がしたり、してはならない。

これらに違反した場合、競技者は次のホールで 2 罰打を受ける。ただし、ラウンドの最終ホールでのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。(ゴルフ規則書 58p、165p 参照)

### 5. プレーのペースについて (ゴルフ規則 6-7 注 2)

各ホールのプレーに許される時間の限度を記載した「タイムパー」をスタート時に配布するので、これに遅れないこと。特にトラブルもないのにこの時間より遅れた場合(アウトオブポジション)、ストロークに要する時間を個別に計測する。

#### (1) アウトオブポジションの定義

(a) あるホールのプレーを終えた時点で、スタートからそこまでの実際の所要時間の合計が、タイムパーに記載された時間をオーバーした場合

(b) 第 2 組以降の組では、前の組との間隔が 1 ホール以上 (パー 4 のホールを基準) 空いた場合

注 : (a)、(b)の両方にあてはまるときに、その組はアウトオブポジションとなる。

#### (2) アウトオブポジションとなった組に対する措置

ある組がアウトオブポジションとなった場合、競技委員は警告を与え、その組の各競技者のショットに要する時間を計測する。ただし、特別の事情があれば競技委員よりその組に対して前の組との間隔を縮めるように求めるが、合理的時間内に遅れを取り戻すことができれば、各競技者のショットに要する時間は計測しない。特別の事情とは例えばルーリング、紛失球などのトラブルをいう。

#### (3) ストロークするための許容時間

アウトオブポジションとなった後、遅れをとり戻すまでの全てショットの制限時間は 40 秒」とし、プレー時間の計測は、その競技者のプレーの順番が回ってきた時に開始する。ただし、パー 3 ホールにおいて最初にプレーする者、パー 4 とパー 5 のホールにおいて第 2 打を最初にプレーする者、グリーン周辺やグリーンの上で最初にプレーする者のショットの制限時間は 50 秒」とする。制限時間をオーバータイム (タイムオーバー) した場合、プレーヤーは違反回数に応じて (4) の罰を受ける。

アウトオブポジションとなった組は、その後で遅れを取り戻しても、そのラウンド中のタイムオーバーの回数は持ち越す。

#### (4) 罰 則

タイムオーバー 1 回目 - 1 罰打 / タイムオーバー 2 回目 - 2 罰打 / タイムオーバー 3 回目 - 競技失格

### 6. 競技成立の条件

天候、その他の事情により、6 コースあるいは一部のコースが 2 ラウンドの競技が完了しない場合の処置。

(1) 全参加クラブの選手 8 名の内 7 名が最低 1 ラウンドのプレーが終了しなければ、競技は不成立とする。

(2) A. B. C. グループの各 2 コースの競技成立の状況が異なる場合

両コースとも 1 日だけプレー可能の場合.....1 ラウンドで競技成立とする。

1 コースは 2 日間プレー可能だが、1コースは 2 日間ともプレー不可能の場合  
…… プレー可能であったコースでプレーした競技者 7 名のスコアで競技成立とする。

1 コースは 2 日間プレー可能だが、1 コースは 1 日だけプレー可能の場合  
…… 2 ラウンド完了した競技者 4 名と 1 ラウンドだけプレーした 3 名のスコアで競技成立とする。  
この場合、2 ラウンド完了者に競技失格があったときはそのチームは失格とする。

早朝の天候不良などで、午前中の部のスタートが遅れた場合は、午後の部の競技終了が不可能と判断した時点で、午後の部の競技をキャンセルする。

(3) 競技開始時刻の変更による競技成立の制限

第 1 日目 最初の組のスタート時刻 正午までとする。

第 2 日目 最初の組のスタート時刻 正午までとする。

(4) その他の状況が生じた場合、委員会が決定する。

## 7. プレーの中断と再開

- (1) プレーの中断 (落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b,c,d に従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格。(ゴルフ規則書 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

または サイレンを使用せず本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

## 8. スタート時間

規則 33-7 に規定するような、競技失格の罰を免除する正当な事情がないときは、プレーヤーが自分のスタート時間後 5 分以内にプレーできる状態でスタート地点に到着したときは、遅刻の罰は、最初のホール 2 打。

なお、5 分を越える遅刻に対する罰は競技失格。

## 9. 移動

正規のラウンド中の移動について『ゴルフ規則付 (c)9 移動』を適用する。(ゴルフ規則書 166p 参照)

コース内に設置してあるマンリフトは使用できる。

## 10. キャディー

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。

この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 (c)3』を適用する。(ゴルフ規則書 163p 参照)

## ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 排水溝は動かせない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 樹木保護のための施設 (巻網など)は樹木の一部とみなす。  
ただし、樹木のまき網にはさまった球は、罰なしに、その真下の地点から 1 クラブレングス以内で、しかもホールに近づかない所にドロップすることができる。取り出した球は拭くことができる。  
その球をすぐに取り戻せない場合には、別の球に取り替えることができる。このローカルルールの違反の罰は 2 打。
7. 5 と 6 ホール、8 と 9 ホールの間にあるアウトオブバウンズの区域を越えた球は、向こう側のコース上に止まってい

る場合でも、アウトオブバウンズの球とする。

8. 3 と 4 ホールの間、13 と 14 ホールの間にある防球ネットによる障害 (規則 24-2a) のため、規則 24-2b の救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニヤレストポイントを決定しなければならない。  
このローカルルールの違反の罰は、2 打。
9. グリーンに近接する動かさない障害物について、『ゴルフ規則付 (B)5』を適用する。(ゴルフ規則書 153p 参照)

### 注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、倶楽部ハウス内並びにスターティングホールのティインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 規則 8 (アドバイス) の「注」記載の『アドバイスを与えることのできる者の指名』は競技の条件の中に記載されていない
4. 予備グリーンはスルーザグリーンである。(指定練習日はプレー禁止の修理地とする)
5. 正規のラウンド中、競技者はストロークをしたりプレーする上で、競技の援助となるような情報が得られる携帯電話などを使用すれば、規則 14-3 の違反 (競技失格) となるので注意すること。
6. 競技当日のスタート前の練習は指定練習場で行い、打放し練習場においては備付の球を使用し、スタート前の練習は 1 人コイン 1 枚 (25 球) を限度とする
7. 落下地点の安全確認およびプレーの促進のためフォアキャディをおき、旗によって連絡する。  
赤旗 : プレーしてはならない。  
白旗 : プレーしてよい。  
青旗 : OB または紛失の恐れがある。

競技委員長 島田 龍 弥